

新興国市場レポート

インド 財政赤字の推移

縮小するインド財政赤字

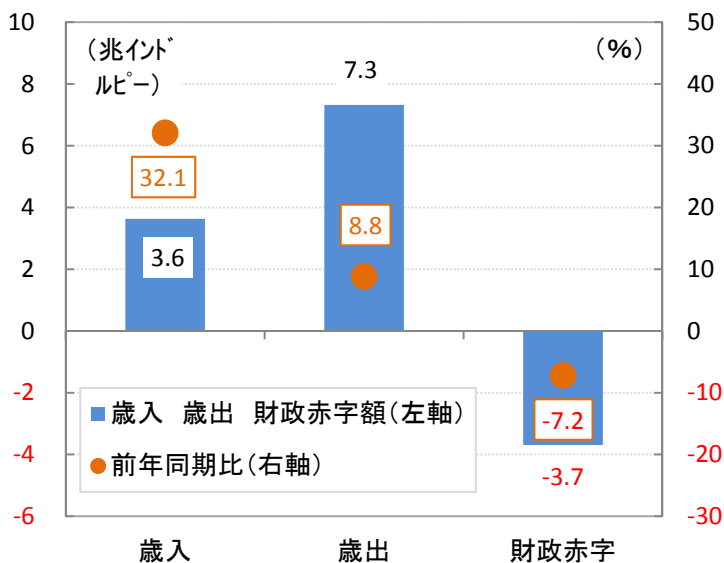
インドの財政赤字が縮小しています。2015年4～8月累計の財政赤字額は約3.7兆インドルピー（約6.8兆円）と、前年同期に比べて7.2%減少しています。

歳入の約5割程度を占める間接税が、石油製品への増税等により前年同期比で36.2%増加するなど、歳入が同32.1%増と大幅に伸びる一方、原油安による補助金の減少等で歳出が同8.8%の増加に留まったためです。その結果、2015年4～8月の累計財政赤字額の年度計画（当初計画）に対する比率も66.5%と前年同期の74.9%に比べ低下しています。

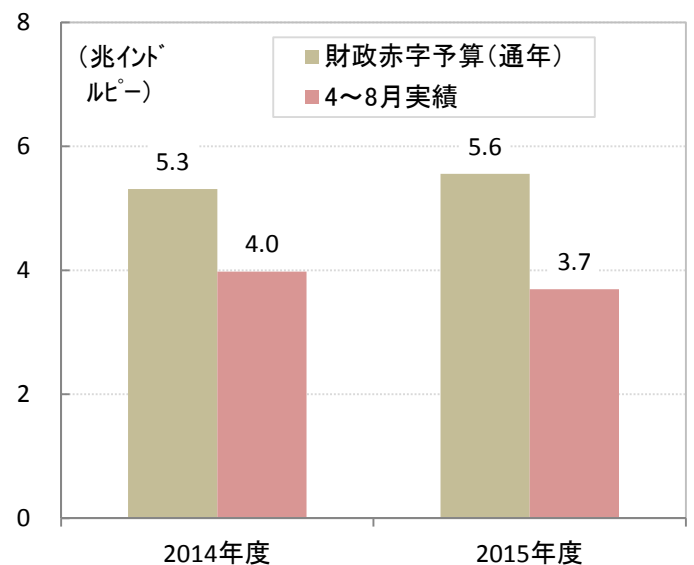
インド政府は今年2月末に発表した2015年度予算案において、2014年度には4.0%であった財政赤字の対GDP（国内総生産）比を、2015年度は3.9%に低下させ、更に2017年度には3.0%まで削減させる方針を打ち出しています。

現状のまま推移すれば、2015年度の財政赤字目標達成の可能性は高まるものと考えられます。モディ首相の規律ある財政運営に対し投資家は信頼を寄せているものと思われれます。赤字削減により財政の健全化が進めば、一部で陰りが見え始めたと言われるモディ人気の復活につながる可能性もあります。また、インド準備銀行の金融政策の自由度が高まる、財政赤字削減で生じる剰余資金を充てることでインフラの整備が進むといった効果も期待できそうです。

図表1: 2015年4～8月累計の歳入・歳出・財政赤字額と前年同期比



図表2: 財政赤字の予算（通年）と4～8月実績の対比（2014年度と2015年度）



出所: 図表1～2はインド政府データ、ブルームバーグデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。